

First Commercial Digital Signal Processor Chip, 1980

In 1980, NEC (formerly Nippon Electric Company) developed here the first commercially available, programmable digital signal processor chip, μ PD7720. Its novel bus structure, 250-nsec instruction cycle, and 16-bit multiplier enable fast finite impulse response filtering and provided true real-time processing for complex systems. It accelerated the adaptation of digital signal processing in communications and broadcasting.

Dec 2020

世界初の商用信号処理プロセッサ、1980年

1980年、NEC(日本電気)は、世界初の商用プログラマブル・デジタル信号プロセッサ μ PD7720 を開発しました。斬新なバス構造、250 ナノ秒の命令サイクル、16 ビット乗算器により、高速な有限インパルス応答フィルタリングを可能にし、複雑なシステムでリアルタイム処理を実現しました。これにより、通信や放送においてデジタル信号処理の採用が広がりました。

2020年12月

2020年12月15日、「世界初の商用信号処理プロセッサ」のIEEEマイルストーン記念式典が、NEC本社ビルにて開催され、福田 敏男 IEEE 会長より、NEC 新野 隆 代表取締役 執行役員社長に、業績を記した銘板が贈呈されました。銘板は、NEC 玉川事業場(神奈川県川崎市)に展示されています。

**IEEE Milestone 銘板****銘板と記念撮影**

(左から) 徳田 英幸 IEEE 東京支部 Chair、白川 功 IEEE JCHC Chair、福田 敏男 IEEE 会長、NEC 遠藤 信博 会長、NEC 西原 基夫 取締役、NEC 新野 隆 社長

IEEE Milestone 認定の経過:

- 2018年12月20日 Proposal Form 提出
- 2020年5月27日 Board of Directors 承認
- 2020年12月15日 記念式典開催 (場所) NEC 本社ビル

銘板設置場所: NEC 玉川事業場(神奈川県川崎市)